

# 地域の“わ”

多くの人が、自分が暮らす「地域」がもっといきいきとしたところになればいいなと考えていると思います。  
地域資源や経験を活かし、地域をつなぐ活動をしている団体を紹介します。



## 陶芸から広がる交流の輪

【陶芸クラブ】 代表 大澤 悦子さん

ふれあいプラザの陶芸室から楽しそうな声が聞こえる。9月、共同制作を行った地域活動支援センターの人達の作品が出来上がった日です。会員は初めての経験で緊張したが、作品の出来上がりとともにみんなの笑顔を見て、とてもうれしかったと応えてくれました。  
代表の大澤さんは「自分の楽しみから、少しでも地域で役に立てることがあったら地域に出ていければいいな」と考えていたそうです。



集中して製作中！

### 活動紹介

陶芸を楽しみ、交流を図る。  
会員数24名 平成7年～  
毎月第2、第4金曜日  
10時～17時  
ふれあいプラザ工芸陶芸室



地域活動支援センターの人達の作品  
10/17にふれあいまつりで作品展示します。

(取材山野井)

昨年北辺田小学校のクラブ活動での協力依頼があり、陶芸クラブを担当しました。人に教えることに不安があったけど、子ども達の発想の豊かさに、教える側が刺激を受けるいいチャンスだったとの感想がありました。  
6月のキャンドルナイトでは陶芸の良さが発揮でき、暖かい光で地域の人のホッとできる場を提供してくれました。来年に向けて意欲满满です。  
地域での活動を始めた陶芸クラブ。大澤さんは「今後、障害者も高齢者も誰でも参加できる陶芸を目指したい」と楽しそうに話してくれました。今後の活躍に期待します。

## 地域で住民活動をしている人たちの「はじめの一步」



私はこれで  
はじめました！

「子連れでできること」

渡邊 頼子

結婚して安食に来て数年した頃のことです。3人の子どもにも恵まかれ、夢中で過ごす毎日でしたが、何かしたい、私にもできることはないかと頭のすみで思っていました。そんな時、テレビで子どもへの絵本の読み聞かせ活動というのを目にしました。本好きだったこともあり、これだ！と思いました。近くにそういう活動があるかわかりません。ちょうど、長女の小学校に読み聞かせのボランティアが来たことを知り、学校を通して連絡を取り、早速仲間に入れてもらいました。当時、子どもは8歳、5歳、3歳。末っ子はいつも連れて、長期休みは3人連れで活動していました。メンバーにはずいぶん可愛がってもらい、助けられました。  
一番上の娘は、今年18歳になりました。今は、会の代表もさせていただけ、出会った子ども達に元気をもたらって楽しく活動しています。あの時「おはなしの会」に出会えて、本当によかったと思います。

女性編  
【NO.8】